

カードを使って上手に生活再建！

-具体的な被災状況(家族、住宅、仕事)を想定し、使えるカードを議論しよう-

・ピンクのカードは利用に資力(収入)条件がある制度です

・白紙のカードには、自分なりに様々な支援や方法を考えてみましょう 2019年4月版

災害直後

避難所

数日から数か月の利用(閉鎖まで数年に及ぶことも)

ボランティアの支援

片付けや土砂撤去など

障害物の除去(土砂撤去)

半壊や床上浸水で生活に不可欠な場所

使うと仮設住宅に入れない

応急修理制度

半壊以上で修理費のうち58万4000円までを支援

使うと仮設住宅に入れない

支援法の基礎支援金

全壊100万円 / 大規模半壊50万円 / 半壊で解体や長期避難も100万円

数か月後

仮設住宅

原則2年以内(それより短いことも延長も)

資力要件一応あり。半壊でも入居可能性

義援金

家族の死亡・住家被害の程度等に応じ支給

金額は災害ごとに異なり、何度かにわけてもらう

自治体の独自支援金

全壊での加算。半壊、床上浸水などでの支給など多様

災害弔慰金

家族の死亡時500万円給付。

ただし非生計維持者の死亡は250万円

災害援護資金貸付

世帯主の1か月以上の負傷、家財の損害、住家被害の程度に応じて最大350万円の貸付

火災・地震保険

地震保険は火災保険の50%が契約金額の上限

地震保険なら津波、噴火も対象

その後

公費解体

半壊以上の家屋や一部事業所を解体・撤去

解体か修繕かは専門家相談などで慎重に検討を

支援法の加算支援金

建設・購入200万円/補修100万円/民間賃借50万円(単身は4分の3)

被災ローン減免制度

住宅、事業、教育のローンなど個人の債務を減免
再度の借入の可能性もあり

リバースモーゲージ貸付

60歳以上 自宅などを担保に修繕・建替・購入の借入。利息のみの返済

災害公営住宅

収入に応じて家賃が変わる。当初数年は家賃の被災者特例あり